



今月の記事

創立記念式から

先月からの愛の園

ここがこだわり！

リレーエッセイ

10～11月の予定



「心のかよいがあるホーム～祈り合わせて～」

神愛会の43回創立記念式が行われました。宮崎理事長は挨拶の中で愛の園の起工式で深田伊都子初代理事長が、『愛の園は、どこまでもホーム、家庭でなくてはなりません。立派な建物があっても、お年寄りをお世話する人の心が温かく通わなければ意味がありません。全ての人々が真に求めているものはこの「心のかよい」ではないでしょうか。第一線から退き家庭から離れ、身心共に希望からほど遠く生活をするお年寄りにとって、この「心のかよい」こそ切実なもの。社会から求められる働きは守らなければなりません、私どもが精魂を打ち込んでいるのは、お年寄りの切実な求め、心のかよいのあるホームを職員全員が心を合わせて育て上げることです。』と挨拶したことを紹介し、この思いは「キリストの愛を以て互いに仕える」精神の具体化であり、私たちの働きのキーワード「丁寧さ」に繋がっていると語りました。

また、毎朝の「主の祈り」と「愛の園のための

祈り」の時は、入居者・利用者・職員が繋がって思いが一つになる、愛の園の創立精神に心が向けられるときであるとして、職員が心を添わせることを求めました。また、ある入居者が、自分たちを守ってくれる職員が、忙しい中一瞬でも手を合わせ、例えば仕事で手は動いていても祈りに心を添わせ、自分達のために祈って欲しいと言われたことも紹介しました。

そして、祈りのときに合わせる両手、時には心の手を合わせることは神様と自分を合わせることで、創立の精神である愛に根ざして入居者・利用者に伝えさせてもらう一日の働きをそこからスタートさせましょう、と呼び掛けました。



永年勤続表彰を受けた職員が宮崎理事長と記念撮影

先月からの愛の園 あんなこと、こんなこと



隣接するグラウンドできのくに和歌山国体のサッカー、ラグビー、軟式野球が行われ賑やかでした。地元の子どものメッセージが書かれた織旗が素敵です！



シニアメンタルビューティー協会の福祉ネイリストの方が来園され、希望する入居者に腕のマッサージやネイルサービスを行っていただきました。 9/3



今年も岩田幼稚園年少組の園児達が敬老訪問に来てくれました。年長さんが入居者一人一人に宛てた手紙と、歌のプレゼントをいただきました。9/18



「敬老の日～1日我が家～」午後からの催し物では、ちんどん屋さん、古谷 学さん、つぼみ会さん、勝謡連合会さんにお越しいただき、素晴らしい時間をご家族・入居者と共有することができました。 9/13





ここがこだわり！私のユニット 11 ユニット

ケアワーカー
羽山成美



楽しく談笑される入居者の方々。

私が11ユニットに他ユニットより移動してから、半年が経ちました。11ユニットは、あたり前かもしれませんが、入居者の皆さん1人ひとりの時間を自由に過ごしていただくことが出来るユニットだと思っています。

ある入居者の方は、自室の畳で寝転がって過ごしたり、車椅子で自走の出来る方は自室とリビングを自由に行き来したり、ソファに座り寛いでいたり、職員と談笑し過ごしていたりと、個々にしたいことを職員が手助けをして有意義に過ごしていただける様にしています。

職員と入居者さんがお互いに気を遣いながらもかもしれませんが、話したいことを話し、時には怒ったり笑ったりと仲良く過ごしています。

特にこだわりとしては、この個々に落ち着くこ

とができて、職員とも和気藹々とした雰囲気大切にしながら日常を過ごしてもらえる様にユニット職員一同で頑張っています。

先日、私にとっては11ユニットで初めてのたこ焼パーティーを開催しました。ご高齢の入居者の方も増え、食事や水分を摂る量が減っている方も11ユニットには居られますが、たこ焼をお皿に置くと直ぐに「美味しいわ。」と笑顔で食べてくれたり、「もう一つ食べよか。」とおかわりをして何個も食べてくれたり、職員と会話しながら楽しんでいただけた様子で嬉しかったです。

これからも、入居者さんの皆さんが笑顔で生活していただける様に頑張っています。



「キリストの愛を以って
互いに仕える」

リレーエッセイ(38) 「名作と出逢って」

事務職員
岡本多恵子

数少ない私の趣味のひとつに映画鑑賞があります。有名な大作からB級C級作品やミニシアター作品まで、今まで観た映画は数知れず。その中でも最近観て心に残った映画のお話をさせていただきます。

タイトルは

《ネブラスカ～ふたつの心をつなぐ旅～》

この映画はアカデミー賞はじめ各映画賞で主演男優賞や作品賞にノミネートされ話題になったのでご存知の方も多いかもかもしれません。監督はアレクサンダー・ペイン、主演はブルース・ダーン。物語は疎遠だった親子がインチキな通知文を信じ込み、当たっていない賞金100万ドルを手に入れるためにモンタナ州からネブラスカ州を目指し、その道中に立ち寄った父の故郷での昔の父の友人や親戚、知人との出会いな

どが描かれるロードムービーです。息子も周りの人々も当然父親の100万ドルが当たったと言う話を頭から信じませんが、頑として当たったのだと譲らない父親に、息子を始め周囲の人々も次第に父親の旅を応援します。

特に印象的だったのは父親が当たった懸賞金でトラックを買うのだと知った息子が、父の故郷を通る際、自分のトラックを父に運転させ、凱旋させるシーンです。

この映画は近年に珍しいモノクロ映画で決して華やかではありませんが、家族とは何かを私に今一度考えさせてくれる素晴らしい作品でした。機会があればぜひ一度は観てほしいと思います。

次回は調理室 田上祥代さんです。宜しくお願いします。

社会福祉法人神愛会
特別養護老人ホーム愛の園

〒649-2103
和歌山県西牟婁郡上富田町
生馬 316-56
TEL (0739)47-1234
FAX (0739)47-4329
Email ainosono@shinai.or.jp

ホームページもご覧ください。
バックナンバーを掲載しています

<http://shinai.or.jp>

10～11月の愛の園

編集者から

- 11(日) 礼拝(み言葉の礼拝)
岩田幼稚園運動会観覧
- 13(火) マリア会
- 15(木) やまびこ会 ヨガ教室
- 16(金) 社協ボランティア来園
- 18(日) 礼拝(み言葉の礼拝)
- 19(月) まりもと愉快的仲間たち来園
- 20(火) ひまわり会
- 22(木) やまびこ会 ヨガ教室
秋の遠足(すさみ方面)
- 25(日) 礼拝(聖餐式)
- 27(火) マリア会
- 28(水) 歯科診療
- 29(木) やまびこ会 ヨガ教室

先月からメディアにおいて豊中市の有料老人ホームでの虐待事件が取り上げられていました。虐待ということは決して許されるべきことではありません。虐待防止の為には、「開かれた施設」であることが重要です。

そのためには、ご本人やご家族の皆様と施設側との信頼関係を築くことがまず優先されるべきだと思いますし、ボランティアや地域の方々に施設にお越しいただく機会を多く作り、実際に愛の園とはどういう施設なのかを知っていただくことが大切であると考えています。

また、愛の園では産業医による健康相談等の窓口も設け、職員の身体状況やストレスマネジメントに対してのアドバイスをを行い、適切なケアが提供できるよう努めています。(C)

- 1(日) 日曜礼拝(み言葉の礼拝)
- 3(火) 逝去者記念式
- 5(木) やまびこ会 ヨガ教室